

<b>授業科目</b>  基礎看護学実習Ⅱ	<b>区分・教育内容</b>  専門分野Ⅰ 臨地実習		
<b>授業担当者</b>  齊藤 豊子 (専任教員)	<b>開講時期</b>  前期	<b>単位</b>  2 単位	<b>時間数</b>  90 時間
<b>授業の目的</b> 対象に応じた看護過程を展開する基本的能力を身につける。			
<b>授業の目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象を身体的・精神的・社会的側面から把握し、看護の必要性が判断できる。</li> <li>2. 対象にあった看護計画を立案できる。</li> <li>3. 計画に基づき看護が実践できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価できる。</li> <li>5. 看護実践を通じて自己の看護観を養う。</li> </ol>			
<b>授業概要</b> 本実習では、看護過程用紙を用いて、対象を身体的・精神的・社会的側面から捉え、看護計画の立案および実践・評価の方法を学ぶ。 入院療養中の患者1名を受け持ち、対象との関係を築きながら、対象者の発達段階・生活習慣・背景など収集した情報を看護過程用紙を用いて分類・分析（アセスメント）する。アセスメント結果を基に、看護上の問題を明らかにし看護目標の設定や個別性を考慮した具体策の立案方法を学ぶと共に立案した看護計画の実施・評価をする。実施を通して観察した患者の反応からアセスメントや計画について追加・修正を行う。既習の知識や技術を活かしながら、対象の個別性を捉えた看護過程の展開を目指す。さらに、見学や実践した看護活動を通し自らの看護観を養う機会としてほしい。			
<b>授業計画(進め方)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日程・実習場所は、ガイダンスに準じる。</li> <li>2. 患者 1～2 名受け持ち看護過程の展開をする。</li> <li>3. それぞれの看護過程をケースカンファレンスで検討する。</li> <li>4. 看護計画に基づいて毎日の行動計画を立て、実践する。</li> <li>5. 1 日の実習内容と学びはカンファレンスで交流した後、看護過程用紙に整理し、翌日提出する。</li> <li>6. 実習終了カンファレンスで看護についての学びを交流する。</li> </ol>			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> 山口瑞穂子・関口恵子監修 疾患別看護過程の展開 学研 竹尾恵子監修 看護技術プラクティス 第3版 学研 看護医学電子辞書			
<b>評価の方法</b> 実習評価表に基づいて評価する。			